

No.35

2018

9/14



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



八地申3号 中央快速線209系導入に伴う申し入れ 十分に教育・訓練を行なえる体制を創出そう!

地本は支社より『中央快速線等へのグリーン車サービス導入に伴い、E233系が改造工事のため工場へ入場となる。そのため予備編成が不足するため209系を予備編成として豊田車両センターへ配属され運用される』と説明を受けました。

E233系はモニタ装置がTIMS、209系はMON8と仕様はもちろん、運転台の構造が異なるなど乗務員、車両検修ではこれまでの業務が大きく変化します。安全で安定的な輸送の確保には、導入されるまで事前の関係社員への教育訓練、規程類の改正やマニュアル類の整備など万全を期す必要があります。よって地本は支社に対して9月13日、下記の通り申し入れを行ないました。今後真摯に議論してまいります。

1. 中央快速線に209系が導入される時期、運用範囲、既存のE233系との仕様の違いを具体的に示すこと。
2. 乗務員に対しての訓練計画を示すこと。乗務する全運転士にハンドル訓練・現車訓練、全車掌に現車訓練を行うこと。
3. エアセクションの取扱いにおいて、乗務員が通勤時間帯の混雑した車内を移動することは困難なことから、個別操作や遠隔操作ができるようにすること。
4. 乗務員室扉の位置が異なることから、ITVの視認性を確保すること。
5. 検修社員に対しての訓練計画を示すこと。
6. 豊田車両センターでの機能保全体制を示すこと。また、モニタ装置がMON8であり作業量が増加することから、E233系よりも体制を厚くすること。

事前に万全の準備を整えて 安全輸送を実現させよう!

